

## 池田雅之さん 64

早稲田大学教授

(神奈川県鎌倉市)



「学校や家庭とは別に、子どもが素のままの自分を思いつきり出せるような

『居場所』をつくりたい」。2003年、陶芸や朗読会、自然体験といった学びと遊びの場を子どもたちに提供する「鎌倉てらこや」を始めた。

不登校や引きこもりなどが深刻化した1990年代末から、家庭と学校をつなぐ懸け橋として「地域力」の活用を意識してきた。「次の世代を共に育てるといふ目標があれば、分断された地域社会も一つになれるはず」と力を込める。

NPO法人の運営には、教授を務める早大などの学生が加わっている。彼らが「お兄ちゃん、お姉ちゃん」役を務めることで、子どもも、若者、大人の3世代が「一体となってみんなで成長できる」。それが活動の原動力になっているという。

これまでに延べ5000人を超える子どもが参加し、自らも6年前、地元の人たちに誘われ、鎌倉の地に引越した。広島や新潟など全国各地のてらこやを結んで交流する「てらネット」の整備も進む。「民衆の活力を引き出すNPO活動を日本に根付かせたい」と、日夜知恵を絞っている。

# 子どもの居場所、地域と作る

第35回正力松太郎賞の受賞者 田